

はじめに

放送利用の大学公開講座（放送公開講座）は、本センターが大学及び地元の民間放送局との協力を得て行っている研究開発事業で、放送を利用して行う大学教育の内容・放送等の研究開発、大学教育の開放の促進及び大学における教育方法の改善に資することを目的としている。

本事業は、昭和53年度以来、本センターが各大学に依頼して実施しており、番組の制作及び放送は、財団法人民間放送教育協会に委託している。当初は、東北、金沢及び広島の3大学で実施されたが、逐次、実施大学が拡大され、平成4年度は北海道大学、東北大学、新潟大学、金沢大学、信州大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、鳴門教育大学（四国地区）、熊本大学、琉球大学、高岡短期大学の12大学で、テレビ12科目、ラジオ11科目の計23科目の講座を実施した。

これまで、放送公開講座においては種々の調査研究を実施してきたが、平成元年度より①番組の制作、②印刷教材、③受講生サービスと受講生拡大、④大学授業への活用をテーマとする研究（テーマ研究）を発足させ、調査研究を推進している。また、本年度から共同研究として「放送利用の大学公開講座の単位化に関する研究」が、本センターと新潟大学の間で実施された。これらの調査研究報告については、「平成4年度放送利用の大学公開講座テーマ研究報告書」にまとめてあるので、ご参照いただきたい。

本報告書は、平成4年度の放送公開講座に関する実施報告書であり、Ⅰで講座全体の実施の概要を、Ⅱで各大学及び放送局からの実施報告を、Ⅲで民教協の井出氏からの平成4年度の番組づくり、その他から、またⅣでは番組制作日程、視聴率について掲載している。

平成5年10月

放送教育開発センター